

10901セメント・同製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	16~17	年末の大掃除で、構内製品工場・第4工場周辺をミキサー車で水を流したあと、車両から降りるときに右足を骨折した。	53	3	221	50 ~ 99
2	2017	12	11~12	事業場内で袋詰め作業を行っているとき、袋詰め機械の紙のずれを直すため、袋詰め機械側に渡り、作業を終えて戻ろうとした際、足場を踏み外してバランスを崩し、袋詰め機械の側面に接触して強打した。	51	3	169	10 ~ 29
3	2017	12	9~10	場内作業場において、建屋内の伸縮クレーンで脱型した直L（TVPE1）H1600（1469kg）を建屋外の仮置き台に載せたとき、担当者が脱型治具を片側だけ外した状態で現場を離れた。現場近くにいた被災者は、脱型治具が完全に取り外されていると思い込み、クレーンを移動させようと操作したところ、製品片側が吊り上がり、仮置き台より製品が落下して、左足の甲に被災した。	65	4	211	50 ~ 99
4	2017	12	9~10	第2工場Bゾーンにて、型枠1200×900の脱型作業中に、型枠内枠と下台の間を清掃するために内枠をクレーンで支えずにボールだけで移動したところ、内枠が受板を外れたため、内枠が倒れ下敷となり、右手右足の一部を骨折した。	49	7	391	30 ~ 49
				生コンクリートを工事現場に配達中、現場到着後に荷卸しをするため、所定のコンクリート舗装された傾斜のついた道路上				

5	2017	12	13~14	で、生コン車から降りて輪止めを設置していたところ、サイドブレーキのかけ方があまかったため、生コン車がひとりで動きだし、地面と輪止め、タイヤに左手指先が挟まれ、欠損骨折した。	54	7	221	1~9
6	2017	12	9~10	納入後、工場へ戻りホッパーを洗い、ステップを降りる際、一番下の最後のステップで滑り、地面に足を降ろした時に、右足を捻ってしまった。	53	2	221	1~9
7	2017	12	14~15	排水処理場前で、外れてしまったフォークリフトの爪（3本爪の中央）をはめる際、爪のフック部をフォークリフト本体のレールにはめる時に、爪をレールの切り欠き部に手で移動させようと爪を左手で持った事が原因で、爪が切り欠き部にはまった事により爪が下がり、爪と角材の間に左手薬指が挟まり被災した。	60	7	222	30~49
8	2017	12	5~6	屋内作業場よりハイド板付タイヤショベルを外に出す際、シャッター内側（強風破損防止）の縦に挿し込んでいた木材タルキを取り外す為ハイド板の上に登り取り外そうとしたが抜けなかったのでハンマーで叩いた拍子に滑ってコンクリート土間に落ち腰と肩を強打した。	61	1	141	10~29
9	2017	11	17~18	コンクリート材料の貯蔵タンク増設場所で、架台基礎のコンクリートの型枠を脱型作業中に足場、手摺りのない不安全な状態の中で高さ1m93cm、幅20cmのコンクリート上部に立って脱型したベニヤ材料の受け渡し中に足元のバランスを崩し、真下への転落を瞬間的に避けようとの思いから、体勢を反転させて地上部（高低差1m25cm）へ自ら飛び降りた、その際、左足かかとを強打し負傷した。原因は安全を確保するための措置を講じていなかったことによるもので、深く反省している。	52	3	416	1~9
10	2017	11	7~8	自社駐車場にて大型生コン車の始業点検中、運転席から降りようとした際、一番下のステップを踏み外して背中から落下強打	58	1	221	30~

				する。				49
11	2017	11	8～9	生コンクリートの配送のため走行中、現場手前約3km地点で生コン車後輪がのった途端、林道の右側（谷側）が崩落し、約30m河川敷へ転落した。被災者は生コン車を脱出し、徒歩で工事現場へ助けを求めた。（道幅3m）	43	17	221	10 ～ 29
12	2017	11	7～8	製品堆積場において、防火水槽端板の堆積作業中、フォークリフトに備え付けの足場台に乗り、吊金具を取り外し終えた時に、停車していたフォークリフトの駐車ブレーキの利きがあまりなくなっていたことで、後退し始め、リフトが製品から離れてきたため転落の危険を感じ、高さ1.8mの足場台から飛び降り、左踵骨を骨折した。	60	1	222	50 ～ 99
13	2017	11	10～11	会社敷地内において薪割り機を使用して作業中に、薪を機械にセットする側と機械のスイッチを押して動かす側の安全確認がお互いに不十分だったために機械を動かした結果、薪と機械の間に右手を挟み小指及び薬指を負傷した。	71	7	139	10 ～ 29
14	2017	11	5～6	製品切断工程の切断機で製品が詰まり製品板の排除作業中、切断機の電源を切ったが切断刃が惰性で回転していた為、手袋が引っ掛かり巻き込まれてしまった。右手中指第一関節より上切断、右手人差し指を骨折した。	35	7	121	30 ～ 49
15	2017	11	15～16	ブロック検品ライン作業中にブロック押し出し機にブロックが引っ掛かり止まってしまった。停止させて入らなければいけないエリアに停止させずにブロックを取ったところ、ブロックと押し出し機アーム部分（棒状）に右薬指を挟んだ。	50	7	391	10 ～ 29
16	2017	11	8～9	生コン納入後、現場から工場に戻り、ミキサー車を洗車するため、ミキサー車のステップを上った時、足を滑らし飛び降りたが、踵を強く打って負傷した。	48	3	221	10 ～ 29
17	2017	10	16～	ブロックマシーン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとしホッパーとホッパー格納庫の隙間（幅20cm×長さ2m×高	54	1	391	10 ～

			17	さ2m10cm) に落ちた。				29
18	2017	10	10～ 11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて完全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の(足の)方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	7	521	10 ～ 29
19	2017	10	9～ 10	ハンマーにて水抜き管の詰まりを解除後、コンクリート擁壁上を伝って点検座まで移動中、擁壁上に堆積していたスラッジで足を滑らせ4m下の地面に転落し被災した。	53	1	418	1～ 9
20	2017	10	9～ 10	工場内において、製品の積み込み段取り作業中、フォークリフト用の延長フォーク(重さ45kg)をフォークリフト用の延長フォーク(重さ45kg)をフォークリフトにセットする際、手で抱えて床に置こうとしたところ、床と延長フォークとの間に指を挟んでしまい負傷した。	65	7	379	30 ～ 49
21	2017	10	7～8	工場の骨材置場、前面側のカーテンを開く時、カーテンのフックを外すため、脚立で3mの所のフックを外した後、風でカーテンが煽られ脚立ごと地面に倒れた。いつもは、脚立を抑えてもらい作業をしていたが、2ヶ所あるフックを風が強いので、いつもとは逆に上から外したため一人作業になった。	67	1	371	10 ～ 29
22	2017	9	12～ 13	工場内の車両洗車場にて、車両後部のステップに乗って車両を洗車中、ステップが濡れていたため足を滑らせ、左ひざを打ち負傷した。	47	1	221	10 ～ 29
				工場内において、10t生コン車後部荷卸しシュート支柱内のスプリング交換作業を3名で行っていた、シュート支柱を外し内部のスプリングを交換後、シュート支柱を元の位置にセットするた				

23	2017	9	9～ 10	め、支柱上部の穴と下部の穴、それぞれに番線を差し込みチェーンブロックをセットする、輪っかを作り、支柱をチェーンブロックで縮めていた、ところが上部に巻いていた番線が切れ縮めていた支柱がスプリングの力で伸び、支柱下部を支えていた手を支柱と地面（コンクリート面）の間に挟み右環指を骨折した。	67	7	911	1～ 9
24	2017	9	8～9	本社工場のコンクリート製品の製造ラインで、鋼製の型枠を開く作業をしている、側板がある程度開いたところで、本来なら側板が当たらないように足を退避させておくべき所を、そうしないで側板から手を離したところ右足の甲に側板が当たり被災した。	42	6	521	1～ 9
25	2017	9	15～ 16	コンクリート製品置場で、製品のシートの破れ箇所の補修作業を実施中、製品に乗りテープにて補修作業をしていた。作業が終了し製品から脚立Bを利用して下りようとしていた際、脚立の設置の安定が悪く又作業の補助者も不在であった。脚立に足をかけた際に脚立が転倒し、本人も転倒の際に右手より着地し、右肘を負傷してしまった。他の作業者も片付け作業のため当場所を離れており事故当時の目撃者は無かった。	35	1	371	30 ～ 49
26	2017	9	16～ 17	事業所（工場）内のプラント清掃中に、階段を下りる際、滑って落ちて右肩を打撲した。	46	1	413	1～ 9
27	2017	9	15～ 16	材料となるセメントの給材ホッパー（2号ライン）周りで、成形機トラブルによるホッパー内に残った平モルタル廃棄準備中に、ホッパー開口部の板を外して、その上を歩いているときに体勢を崩して右足首を捻って骨折した。	32	19	391	10 ～ 29
28	2017	9	16～ 17	当社生コンプラントにおいて、当日の生コン出荷後、生コンプラントのミキサー部の清掃作業中に右手にミキサー回転翼スイッチ、左手に洗浄銃を持ってミキサー内部を清掃中、誤って洗浄銃と回転翼に挟まり、あせって引き抜こうとしたら逆に手	31	7	162	30 ～

				を取られ回転翼に左手を巻き込まれ、左手デクロービング損傷、左環指基節骨骨折を負った。				49
29	2017	8	9～ 10	当社工場から川に流れる排水溝の詰り具合を見るため、下に降り、さらに護岸ブロック伝いに川底へ梯子を下ろした。梯子を4、5段下り、排水口部分に垂れ下がっていた蔓を引いたときに、バランスを崩して約3m下の水面に足から落下した（水深60cm）。その際に川底の岩か、梯子か、堤防部分の護岸ブロックで強打したかは定かではないが、水から上がったあとに左膝に強い痛みを覚えた。	70	1	371	10 ～ 29
30	2017	8	9～ 10	高さ1m位のトラックの荷台から、袋セメント（25kg）を降ろそうと持ち上げたときに負傷した。	31	19	611	30 ～ 49
31	2017	8	14～ 15	炎天下の屋外で、サイドポンプ修理の緊急作業を1時間程行ったあと、一旦水分補給等の休憩をとり、作業を再開したところ、本人が体調不良を訴えたため病院に搬送した。	49	11	715	30 ～ 49
32	2017	8	9～ 10	パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ80cm、重量50kg位）を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	7	521	10 ～ 29
33	2017	8	10～ 11	現場へ建築用コンクリートブロック（12cm、重量11.2kg）162個を配達した際、荷降ろしのため商品を固定していたラッシングベルトを緩めたとき、最上段に積載していたブロックが1個落下し、右手人差し指に当たり負傷した。	33	4	221	1～ 9
34	2017	8	17～ 18	原料監視カメラ位置調整中、コンベア上での作業後、降りたときに安全柵の支柱を踏みつけ、足を捻って罹災した。	29	19	224	30 ～ 49
				ミキサー車をコンクリート圧送用ポンプ車のホッパー部分に停				

35	2017	8	14～ 15	車できるように誘導する作業を、建築現場にて行っていた。ポンプ車のホッパー内にはセンサーがついていて、生コンクリートが無くなると自動的にポンプが停止するが、そのセンサーが働かず、空気を空送りする状態となったので、慌てて異常停止ボタンを押した後、ポンプ車から下りる際にその段差により足を挫いた。	56	2	221	10 ～ 29
36	2017	8	17～ 18	屋根と2面の壁がある自社屋外作業場で、生コン運搬車に乗ってコンクリート製品の打設中、運搬車から降り、型枠に取り付けるための専用じょうごを運搬車から降ろそうとした。このとき、運転を止めたあとの運搬車が惰性で動いており、その運搬車を避けようとしたが、運搬車の下側にある巻き込み防止用の硬質ゴムの下に安全靴ごと左足が入り込んでしまい、骨折した。	38	7	221	1～ 9
37	2017	8	16～ 17	工場内で、コンクリートミキサーの掃除の準備中をしていたが、顔色が悪かったため暫く休んでいた。しかし次第に手足が痺れ、意識が遠のいていったので、救急車で病院に搬送された。	24	99	921	10 ～ 29
38	2017	8	14～ 15	工場内において、コンクリート製品を型枠から外す作業中、製品と型枠の間に鉄の棒（長さ73.3cm、直径3cm）を差し込み、押し上げた時に手が滑り、鉄の棒で下顎を強打し負傷した。	58	6	364	10 ～ 29
39	2017	8	16～ 17	当社敷地内にてミキサー車の洗車作業中後部車体と5段目ステップで誤って足を滑らせてしまい高さ2m位の所から地面に落下して負傷したものである。	62	1	221	30 ～ 49
40	2017	8	8～9	当日注文のあった生コンクリートを納入するためミキサー車で現場に出向き生コンクリートを荷卸し、注文数量を納入し終え、ミキサー車後方の車上ステップ2段目から下りようとしたところ誤ってステップを踏み外して高さ80cmから地面に落下、その時地面についた右手首を負傷した。	68	1	221	1～ 9

41	2017	7	11~12	当社工場内において、コンクリートブロックの製品を製造作業中、製品が仕上がったので型枠を左右に開いて外そうとした際、外した金具が足の上に倒れてきて、右足の中指つけねが挟まり負傷した。被災者も金具が倒れることを知っていて、足に当たらないよう避けていたつもりができておらず、ちょうど安全靴の足先の硬くないところに金具があたり負傷した。	34	6	391	10 ~ 29
42	2017	7	16~17	工場内においてアート側溝横断暗渠（重量：約280kg）の反転作業を、他の作業員と2人で行っていた。右手で製品を支え左手で製品を持ち上げ反転作業を開始した。製品を輪木上に卸す時、製品と輪木との間で右手第2指を挟み負傷した。	46	7	529	10 ~ 29
43	2017	7	8~9	生コン車で配達に行き現場の敷地外の空地より前進すべきところ操作ミスにより後方へ車両が動き10m下に転落した。	43	1	221	10 ~ 29
44	2017	7	11~12	コンクリートブロックを分割する加工機（スプリッター）で、機械部品の組替え作業を行っているときに装置が稼働する部分の間にあるネジを外すため右手を差し込んだ際に自動運転を解除し忘れていたため、装置が稼働して右手の甲部分を挟まれて裂傷および骨折等のけがをした。	53	7	169	10 ~ 29
45	2017	7	14~15	工場の仮製品置場でコンクリート製品の梱包をしていた。コンクリートの蓋をPPバンドで締めていた時PPバンドが切れ後ろに倒れた。倒れた所にコンクリート製品があり、右腕を切った。	39	19	921	10 ~ 29
46	2017	7	11~12	工事現場へミキサー車を運転して生コンを輸送後、現場でミキサー車を洗浄中、雨で濡れていたステップで足を滑らせ、地面へ落下した際、左肘をついてしまい骨折した。	62	1	221	10 ~ 29
47	2017	7	9~10	当社製品置場において、トラックの荷台にコンクリート製の蓋を積み込んでいたところ、腰の右側に痛みを感じたがそのまま作業を継続し勤務終了後、痛みが治まらなかった。	44	19	611	1~ 9
				工場内にて、ハイタッチ型枠締固め作業中、ラジエットにパイ				

48	2017	6	9～ 10	プを入れ、締め作業をしていた。ラジエットの切替部分に不具合があり、空回りし、その反動により下に押し付けて指を怪我した。	57	3	364	50 ～ 99
49	2017	6	10～ 11	工場内の受材ホッパー下で泥等を除去中に、泥をドラム缶に移す作業をしていたところ、空のドラム缶を被災者本人が自分の方へ引き寄せた時に、左足の親指に乗っかり負傷した。	55	7	611	10 ～ 29
50	2017	6	11～ 12	工場内でコンクリート製品を脱型中に手が滑り、スチール型枠共に右足に落下した際、右人差指を骨折した。	58	4	611	1～ 9
51	2017	6	11～ 12	生コンクリートミキサー車ホッパー（生コンクリート投入部）の上部にのぼって、洗浄を終えて降りようとしたところ、車のステップの高さ1m位の所でバランスを崩し、左足の踵から落下した。	45	1	221	10 ～ 29
52	2017	6	16～ 17	工場内において、ライン（自動制御）にてストーンサークルA形型枠を4番養生槽へ移動していたところ、約10cm手前で止まっていたため手動に切り替え、定位置に進めるためブッシャーと型枠架台の間に角材（75×75×2050mm）を入れ、定位置まで移動した。一回目の動作で型枠架台が動いたが、角材が外れたため位置を直し再度押し、定位置に達したのでストップの合図をしたが、それと同時に角材が中央部で破損し、破片が顎に当たり負傷した。	68	4	169	30 ～ 49
53	2017	6	11～ 12	第一工場内で、フォークリフトのエンジンを切らずに降りたところ、フォークリフトが動きだした（ギアが前進に入っていた）ので、エンジンを切ろうとしてフォークリフトの側面とシャッターの柱の間に挟まれて負傷した。	66	7	222	1～ 9
54	2017	6	15～ 16	就業場所にて、残水を捨て終わり、大型ミキサー車の上部のホッパー脇のステップから降りる時、一番下のステップで足を滑らせ、手で手すりを掴んでいたが支えきれずに落下してし	52	1	221	50 ～ 99

				まった。				
55	2017	5	11～ 12	構内にて、生コンクリートミキサー車から降りる際、片足が浅い溝に入り転倒し、左手を地面につき、手首を骨折した。	56	2	221	50 ～ 99
56	2017	5	16～ 17	開梁の型枠サイズ替え改造作業で、脚立（1.7m）に座りラチェットレンチを使い継手のボルトを一度締め込み、増し締めするためラチェットレンチにパイプを差し込みボルトを締め込んでいたところ、ラチェットレンチからパイプが抜けて脚立から落下し負傷した。	47	1	371	30 ～ 49
57	2017	5	16～ 17	当社工場内において破砕機の運転席から地面に降りようとキャタピラに乗った際、足が滑り勢いよく地面に足を着き転倒し、足首を捻り負傷した。	44	3	145	10 ～ 29
58	2017	5	16～ 17	自分の担当車を洗車しようとしたところステップから落ちた。	37	1	221	10 ～ 29
59	2017	5	10～ 11	工場内の鉄筋加工場において、地上から約1.5mの高さで屋根の雨漏り修繕作業をしていたところ、登っていた脚立からバランスを崩して地面に飛び下りた際に左足踵を骨折した。	62	1	371	30 ～ 49
60	2017	4	13～ 14	工場内において、残コンクリートを洗車機にかけてコンクリートを砂と碎石を分級する設備で、シュートに固まった固形物を鉄筋を使って落としていた所、回転羽根に鉄筋が巻き込み、右の手の人差し指と親指の間を鉄筋で切りさかれてしまった。尚作業中は皮手袋を使用していたが皮手袋も破れてしまった。	46	8	169	10 ～ 29
61	2017	4	13～ 14	工事現場で杭打設のため荷卸しをしようと坂道をバックで登ろうとしたが登れず、途中で停止した。停止した状態から再度登ろうとした際に自分の感覚ではバックしているつもりだったが、生コン車はノッキングの様な状態になりバウンドをしながら下った。下り終えても約15m先に安全停止するまでバウンド	70	6	221	10 ～ 29

69	2017	3	9~10	生コン車チャーター先の、マンション設現場にて、生コン荷降し後、生コン車後部のシュート部分を洗浄中に、当日雨であった為、高さ1, 2m程の高さから、生コン車バンパーに転落し、股間をバンパーで打った。	46	1	221	30 ~ 49
70	2017	3	16~17	工場内で生コン作業中、コテを使い仕上げを行っている際、左の親指の付け根と手首から肘の間を痛めた。又、3月初旬頃から先輩社員が長期出張の為3人での作業を2人で1ヶ月程度行っており負荷がかかった。コンクリートの製造が全体的に体に負担がかかる業務である。	25	19	364	1~ 9
71	2017	3	10~11	工場内大型製品工場のコンクリート打設場に於いて、大型コンクリートブロック型枠へのコンクリート打設の準備のため、型枠が設置された鋼鉄製パレット上でコンクリート締め込み用バイブレーターの型枠への取り付け作業中、バイブレーターを抱えて右足を踏み下ろしたところ滑り転倒し、パレットで脛を強打した。	48	2	419	30 ~ 49
72	2017	3	10~11	被災者は歩行にて作業場へ移動をしている際に、15cmぐらいの段差がある段差がある所につまずき、左足部を打った。	63	2	417	1~ 9
73	2017	3	10~11	車両を道路端に駐車して洗車作業をしているとき、足をステップから踏み外して後ろによろけ、道路脇の畑（落差約2メートル）に転落し、首を強打し、頸椎を骨折した。	50	1	416	10 ~ 29
74	2017	3	11~12	自社工場内でコンクリート製品用の鋼製型枠を取り外す際に、鋼製型枠の一部（幅70cm、高さ70cm、厚さ10cm）を倒して備え付けの台（高さ40cm）の上に載せる作業がある。今回はその備え付けの台の上に誤って左足を乗せて作業してしまい、倒した型枠と台の間に左足甲を挟み負傷した。	24	7	521	30 ~ 49
75	2017	3	13~14	仕事を終え、残水処理場において洗車中に、足を滑らせ手をついたときに左手薬指を負傷した。	65	2	416	10 ~ 29

76	2017	3	11~12	型枠部材を反転時、型枠部材を安全靴の間に左人差し指を挟み切創を負った。	36	7	521	50 ~ 99
77	2017	3	16~17	脱型作業における緊張ナットの解除をするため、ナットとカプラの位置関係を確認していたときにクレーンを北方向に逃がそうとした際、誤って東のボタンを押してしまい、自分の方向に向かってきたクレーンがPS導入機に衝突し、その勢いでPS導入機とそれを支えるフレームの間に右足の脛部分を挟み負傷した。	56	7	169	10 ~ 29
78	2017	2	16~17	工場内の生コン車駐車場で運転席から後ろ向きで降りようとした時、下段足のせ（55cm）を踏み損ない後へ転倒し頭、腰等を打撲した。（ヘルメット着用。）	60	1	221	10 ~ 29
79	2017	2	17~18	PCストックヤードにおいて移動式クレーンのアウトリガーの敷板を片付けて、パレットの片付けをしようとフォークリフト右側から乗り込む際に右足がステップから滑りフレームに右手を掛けていたので右肩関節に負担がかかり脱臼した。	32	19	222	50 ~ 99
80	2017	2	15~16	敷地内で、コンクリートブロック（1メートル四方）の移動作業の補助をしている時に、重機で吊られたコンクリートブロックが想定以上に揺れ、コンクリートブロックと敷地の壁に挟まれて負傷した。	27	4	229	1~ 9
81	2017	2	11~12	場内にて20tフォークリフトで部材運搬業務中、当該被災者はフォークリフト業務の手元補助に従事していた。第5工場北側ストックヤードに停車し、降車して作業中、他同様フォークリフトが接近してきたため、通路を譲ろうと移動する際に、当該者がフォークリフトに乗車しようとし、転倒した。フォークリフト運転手から当該者が見えておらず、当該者の転倒に気が付かないまま通路を譲る為に移動したフォークリフトの後輪に左脚を巻き込まれ被災した。	56	7	222	30 ~ 49

82	2017	2	10~11	生コン配達現場で生コンの荷卸し後生コン車の後方のステップに昇り洗車作業を始めようとした時に、洗車用のポンプのスイッチを入れ忘れていたことに気づき、降りようとした時に生コン車フェンダー場でバランスを崩し舗装道路上に飛び降りる形になり左踵を強打し骨折を負う。	67	1	221	—
83	2017	2	9~10	造成現場でポンプ打作業のためコンクリートミキサー車をバックしてポンプ車につける時に、昇らないためアクセルをふかしたら、後ろが横すべりして右側の崖に落ちた。	45	17	221	10 ~ 29
84	2017	2	11~12	会社構内でミキサー車を洗車中にシュート（生コンが出てくる管）部分のカバーに左手の甲を挟み負傷した。	69	7	221	10 ~ 29
85	2017	2	22~23	被災者はフレコンが積まれたパレットを所定の場所に準備したが、他部品の投入状態が気になり確認に行くためパレット横を通過しようとしたところ、パレットの角に右足を引っ掛けて転倒した。転倒の際、咄嗟に左手をついて全体重が掛かり左手を負傷した。同時に右膝を床面に強打し負傷した。	59	2	379	100 ~ 299
86	2017	2	13~14	生コンクリート工場骨材ヤードにおいて、凍結した砂の影響によりホッパーが詰まりを起こしていた為、詰まった砂の状況確認をホッパー上部にて行う際、足元の砂が崩落したことで、試験員もホッパーに転落した。上半身胸部あたりまで砂に埋もれ圧迫により身動きが出来ない中、ホッパースチームから噴出される高温蒸気にさらされ両脚に熱傷を負った。	62	1	523	10 ~ 29
87	2017	1	11~12	工場にて、ウイング車の荷台上で荷物の移動作業中、荷物の落下防止用の縁で足を躓き、荷台から転落した。	54	1	221	10 ~ 29
				バージ塗装のためのサビ打ち作業をするため、単独で現場に向かうとき、バージに船を係留しようとし、誤って海に転落した				10

88	2017	1	8～9	ものと思われる。事故発生時は北西の風が強く吹いていた。船の出発時、定アンカーを設置していたが、プロペラにそれを巻いており、ロープを巻いたままバージに向かっている。	47	10	239	～ 29
89	2017	1	16～ 17	作業場兼資材置き場の掃除をしていたときに躓いてしまい、積んでいたコンクリートの塊（約60cm×60cm×90cm）で胸を打ち、負傷してしまった。	39	2	417	—
90	2017	1	13～ 14	場所打ち現場で、生コンクリートの荷卸し作業中にミキサー車のシュートの角度を変える為、手で押した際に足元が不安定だった為、バランスを崩し左手首を捻った。	38	19	221	10 ～ 29
91	2017	1	13～ 14	当社事業場内においてミキサー車の洗車作業をしていたところ、寒さのため路面が凍結しており、足を滑らせ転倒した際にミキサー車のシュート部分に胸を強打し受傷した。	51	2	416	10 ～ 29
92	2017	1	8～9	ストックヤードにて、大型ダンプカーで碎石を運搬中、自身が運転する大型ダンプカーで運転席から落下し、自身が乗っていた大型ダンプカーに轢かれ死亡した。	56	7	221	10 ～ 29
93	2017	1	11～ 12	会社構内でミキサー車のドラム内で付着したコンクリートのハツリ作業を行っていたが、ドラムから出て降りる際にステップを踏み外し、右足の脛をぶつけてしまった。しばらく様子を見ていたが、患部が腫れて、うっ血してきた。	46	3	221	10 ～ 29
94	2017	1	14～ 15	工場内で、コンクリート製ブロック（練り張りブロック、W1000×L1000×D300mm、重さ370kg）の製造ライン上の型枠のバラシ作業中、型枠のクランプを外す為、製造ラインの傍に立って足を製造ライン下に踏み入れた際、足が滑り深く足が入ってしまい、移動して来た型枠の下部とストッパー部分との間に足を挟まれ負傷した。	58	7	169	10 ～ 29
95	2017	1	7～8	工場内当社作業所に於いて、鉄製型枠のクランプを外す作業中、鉄製バール（重さ2kg、長さ1m）を持って下から持ち上げた際に腰を痛めた。	65	19	921	10 ～ 29

96	2017	1	8～9	台車をラインに乗せる時、車輪のつばがレールに乗っているのに大丈夫と自分で判断し、台車を押したところ、脱線して自分の左足の甲の上に落ちた。	29	7	362	30 ～ 49
97	2017	1	13～ 14	当社工場2階ミキサー室での作業を行ったあと、試験事務室へ向かうため階段を下降中、残り6段程度の部分で足を滑らし1階まですべり落ち、肘及び背中を打ち負傷した。	52	1	413	10 ～ 29
98	2017	1	17～ 18	コンクリート製造工場内で、コンプレッサーの電源を切るために移動中、床（土場）に氷が張っていたため足を滑らせ、臀部と左手を床（土場）について転倒し、左手を負傷した。	66	2	719	1～ 9
99	2016	12	11～ 12	道路現場にて橋台生コンクリート打設の為、生コン車をポンプ車にセットし、混和剤の投入作業を行うため、安全帯を使用して生コン車のステップを登った。混和剤投入後、ステップを中間まで降りて、安全帯の上部フックを外し中間にフックを掛け替えしようとした際に、足を滑らせて地上へ転落した。	65	1	221	10 ～ 29
100	2016	12	14～ 15	乾燥投入・取出作業中、取り出し側のロボット吸着の際に、製品位置決めストッパーに製品が引っ掛かり、ロボット吸着不具合が発生した。この引っ掛かり不具合を除去するため、コンベアーを停止させストッパーを外して修理しようとコンベアーに上がった。この際、ロボットの電源が切れていると勘違いして確認しなかった。ロボットは自動運転状態だったため身体の一部が光電センサーを遮り、ロボットが降下動作をして吸着ハンドとコンベアーの間に挟まれ負傷した。	61	7	167	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。